

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

【自己紹介】

はじめまして、国際地域学部3年生の藤堂智江と申します。2018年2月末から約1年間台湾の天主教輔仁大学にて留学させていただくことになりました。幼い頃から英語を学んだり、外国の人と交流する機会がよくあり、大学では絶対に留学したいと思い続けてきた私に、ついにその機会が訪れました。この報告書では私の留学生活や台湾の魅力などをお伝えしていけたらと思います。



中国文化の授業にて現地学生(左)と

【なぜ台湾？】

留学先決定後には周りの人にどうして台湾なの？と聞かれたりもしました。実は、私自身も私はアメリカに留学すると思っていました。しかし、実際に留学先を調べたり考えたりしているうちに台湾留学の魅力に気づき、決定しました。大きな理由は3つあり、
①中国語が学べる
②費用が他の国と比べて安い
③食べ物が美味しそうで自分に合いそう
ということです。また、福井大学に留学した・している留学生も多く、仲良くなった台湾人の友達が多いことも理由のひとつです。

【言語について】

そもそも私が中国語に興味を持った理由は、多くの中国語圏留学生が福井大学に来ており、交流するうちに中国語の会話を聞く機会が多々あったからです。そのうちに、私も彼らが何を言っているか分かるようになったらいいのになぁと思い始めました。そして、基本的に福井大学国際地域学部では2年生で第2言語を1年間学ぶことになっているため、私は中国語を選択しました。しかし1年間授業を受けていたとはいえ、自分で特別に勉強していたわけではなく、ほぼゼロからのスタートであるのと同じです。また、日本では中国本土で使われている簡体字で学んでいたのに対し、台湾では昔から使われている繁体字が使われているため、少し紛らわしいです。漢字には慣れ親しんでいる日本人なので、読めばなんとなく意味が分かることが救いです。3月の終わりから留学生向けの中国語授業が始まり、更に、他言語としての中国語教育について研究している学生が研究の一環として少人数で発音や中国語会話を教えてくれることになったため、これから一層力を入れて勉強していきたいと思います。

【生活環境】



輔仁大学はMR T (地下鉄) 輔大駅を出てすぐであり、とても便利な場所です。初めて到着した時の印象は、「空気悪！本当にここで生活するのか、」というのが正直なところ。バイクも次から次へと猛スピードで通り、歩道も上がったり下がったり、ぼうっと歩いていたら怪我をしそうです。しかし、大学の周囲と言うこともあってか、飲食店は十分にあります。

タピオカジュースのスタンドは4つ、コンビニはキャンパス内も合わせると数え切れないほどあります。飲食店の人は私たちに優しく、通うようにいっている料理屋のおばさんは時々お菓子やフルーツをくれます。寮に台所がないという事実は不安でしたが、すぐに慣れ、毎日どこで何を食べようかと考えることは楽しみのひとつとなっています。



ある日の朝食 (パイナップル・
グアバ・ドラゴンフルーツ)



また、キャンパスの広さと緑の多さは私がとても気に入っている点です。寮から外に出ると鳥の鳴き声が聞こえ、天気の良い日は本当に気持ち良いです。ベンチや雲底や鉄棒などのアスレチックもあり、学生以外の市民の人にもよくキャンパス内で運動をしたり喋ったりしています。

【興味深い発見】

輔仁大学には世界各国から留学生が来ています。その中には、血筋的には完全に中国人であるけれどカナダやシンガポールなどで生まれ育った留学生もいます。また、同じような状況の交換留学でなく、正規入学しているマレーシア人にも出会い、話を聞いてみると、彼らは自分の国でも基本的に中国語を話し、学校では中国語・英語・現地語の3カ国語を使っているのだそう。どうして中国語が話せるのか訪ねたところ、「自分は中国人だから」という答えが返ってきました。

中国人は世界一人数が多く、世界各国にチャイナタウンも見られるということは知っていましたが、そういった中国からの移民の子孫がこうして中国圏に留学などという形で戻ってきているという実態を目の当たりにしました。同時に彼らは英語も母国語として話せるため、羨ましいです。私は英語も勉強したいため、彼らから学べると良いなあと考えています。

次に、台湾人の英語能力に焦点を当てたいと思います。私は英語学科に所属しているため、クラスメイトの中にはネイティブ並みに話せる生徒もいます。共通教育の授業のクラスメイトの英語力にはばらつきがありますが、社会系の学部や英語以外の言語を専攻している生徒は堪能な人が多いように思われます。そんな中、自信がなくなったり不安に思うこともあります。しかし、台湾の英語教育は早く幼稚園、一般的には小学生から始まっているという環境にも差があるため、私は私なりに頑張りたいです。